

別紙 発表者(令和5年度チャレンジャー)

【敬称略、五十音順】

<p>【小田原の観光振興につながるインバウンドに向け「農業と食の体験」提供】 太田 千遥</p>
<p>【事業の概要】 訪日外国人向けに、農家の“ふつう”の生活を体験できる宿で、小田原の自然や食の豊かさを発信するサービスを提供する。</p> <p>【取り組むきっかけ】 観光で訪日した外国人が小田原を通過して他地域を目的地とすることが多い中、小田原に点在する文化や農家等を繋ぐことで小田原観光の魅力を発見してもらう機会をつくるとともに、地域の農業を盛り上げたいと考えたこと。</p>
<p>【個性を生かして人生をデザインする社会人向けスクール事業】 坂倉 早織</p>
<p>【事業の概要】 人生において本当にやりたいことを実現するために、スタンフォード式のデザイン思考(正しくニーズ、課題を見つけ、解決に導くための考え方)をベースとした実践中心の講義等を行う半年間のスクール等のコーチング事業を実施する。</p> <p>【取り組むきっかけ】 個性をより発揮できる環境を提供したいという想いを形にしたいと考えたこと。</p>
<p>【不動産業界の人手不足対策と生産性向上のための DX 化事業】 佐藤 怜</p>
<p>【事業の概要】 不動産業界に特有な、間取り資料等の「紙」を利用した業務について、AI/RPA を活用し大幅に効率化するクラウドサービスを提供する。</p> <p>【取り組むきっかけ】 不動産会社勤務時代、FAX による資料のやり取りなど、アナログな商慣習が残る同業界の負の部分テクノロジーで解決し、家探しをするユーザーと家を提供する会社の双方にとってより良い仕組みをつくりたいと考えたこと。</p>
<p>【枯れない盆栽(造花)を小田原から世界へ届けるプロジェクト】 澤野 久美子</p>
<p>【事業の概要】 小田原から、日本文化を世界に発信することを目指し、針金、紙、樹脂粘土を材料とした手入れも植物検疫も不要なハンドメイド盆栽の販売・レンタルサービスを実施するとともに、木工製品や漆器等の小田原の産業とコラボしたアップサイクル商品を提供する。</p> <p>【取り組むきっかけ】 海外勤務時に日本文化の素晴らしさを改めて実感し、趣味であるハンドメイド盆栽と小田原産業を掛け合わせた取組で事業を展開したいと考えたこと。</p>

<p>【脳科学、生理学を合わせた運動「スポーツ脳トレ」事業】 鈴木 大地</p>
<p>【事業の概要】 脳をより機能的にすることで、パフォーマンスの向上が図られる「スポーツ脳トレ」を、スポーツ、学校教育、企業、病院の現場へ提供する。</p> <p>【取り組むきっかけ】 膝の怪我によりプロサッカー選手になる夢は実現できなかったが、怪我と向き合う過程で出会った脳トレで新たな生きがいを見つけ、世界中の人の脳を機能的にすることで、パフォーマンスの向上に貢献したいと考えたこと。</p>
<p>【地域の魅力とバトンを繋ぐ事業承継プロジェクト】 谷合 竜馬</p>
<p>【事業の概要】 後継者がいない飲食店のために、地域の食文化を担う店舗の魅力を発信する動画メディアを運営し、将来的な事業承継に向けたインターンシップ募集等の伴走型のサポートを提供する。</p> <p>【取り組むきっかけ】 ファンの多い魅力的な小田原の飲食店が後継者不足により閉店する可能性のあることを多く耳にし、事業承継により地域の魅力を維持し、地域を活性化していきたいと感じたこと。</p>
<p>【水産業界での女性活躍の場創出事業「水産女子プロジェクト @小田原漁港】 土屋 彩乃</p>
<p>【事業の概要】 小田原漁港で女性が活躍できる場を創出し、漁港の活性化を図るため、水産食材等のオンライン販売やキッチンカーの運営、地元企業や飲食店、若手起業家とのコラボ商品の開発、水産女子イベントの開催等を行う。</p> <p>【取り組むきっかけ】 小田原漁港で働く中、女性の働く環境が整っていないことや、慢性的な人手不足など、地域の漁港が抱える課題を改善したいと考えたこと。</p>
<p>【農業活性化につながるレモン・オレンジ・キウイ等加工事業及び観光農園事業】 槇 紗加</p>
<p>【事業の概要】 小田原産農作物の魅力発信と農業関係人口の増加を目指し、小田原産レモンを栽培し収穫体験等が可能な観光農園で、レモン加工品の製造・販売や援農コミュニティを創出する。</p> <p>【取り組むきっかけ】 小田原市の耕作放棄地増加を目の当たりにし、農業関係人口を増やすべきだと考え、そのためには、農業を体験でき、農家が生産した加工品を気軽に楽しめる場をつくるのが効果的であると考えたこと。</p>